

生成AI活用の 投資提案アプリ

キャピタル・アセット・プランニング（大阪府北区、北山雅一社長）は、生成人工知能（AI）を活用した新しい少額投資非課税制度（NISA）向け投資提案アプリ「W2C」の普及に乗り出した。提携先の米AwakApp（デラウェア州）と試用版を共同開発し、金融機関向けに提供を始めた。

キャピタル・アセット

アバターのバーチャルアドバイザー



W2Cは米オープンAI（カリフォルニア州）の対話型生成AI「チャットGPT」の機能を活用した証券投

資・資産管理向け総合提案アプリ。キャピタル・アセット・プランニングが独自開発したリスク許容診断やポートフォリオ提案などの機能を備える。税金・

社会保障制度情報や各種統計情報に基づく知識データベース（DB）を活用することで、生成AIだけでは実現できない精緻なシミュレーションを実現した。また、チャットGPTの計算機能やグラフ描画機能の弱点を

新NISA向け 金融機関に提供

補完し、つみたてNISAと成長NISAにパーソナライズ（個別対応）した最適配分と投資信託の提案を自動生成できるようにした。利用者を使い勝手も考慮し、アバター（分身）によるバーチャル（仮想）アドバイザー機能も搭載。これにより「分散投資と税務の二つの世界のノウハウを統合した回答を、アバターが映像と音声で分かりやすく表現できるようにした」（キャピタル・アセット・プランニング）。